

平成28年(2016年) 7 ～ 9 月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	234,605 円		
前年同期比	実質 2.1%の減少	名目 2.6%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 1.4%の減少		
二人以上の世帯は,	273,841 円		
前年同期比	実質 2.4%の減少	名目 2.9%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 0.5%の減少		

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	202,761 円		
前年同期比	実質 1.5%の減少	名目 2.0%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 1.6%の減少		
二人以上の世帯は,	239,580 円		
前年同期比	実質 1.5%の減少	名目 2.0%の減少	
前期比(季節調整値)	実質 1.1%の減少		

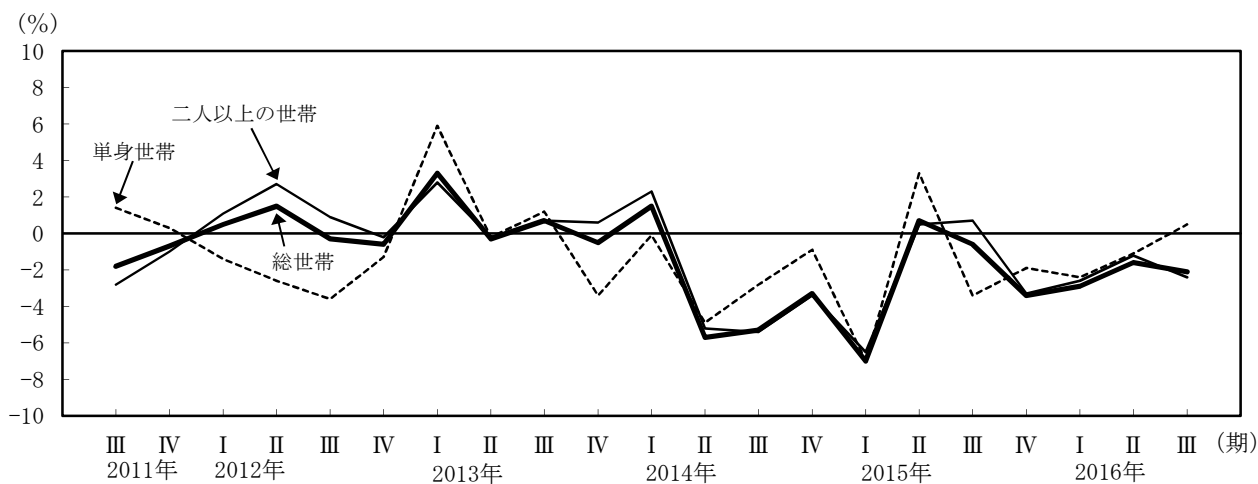
:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

< 勤労者世帯の1世帯当たりの1か月平均の実収入 >

総世帯は,	427,759 円		
前年同期比	実質 1.6%の減少	名目 2.1%の減少	
二人以上の世帯は,	492,954 円		
前年同期比	実質 0.6%の増加	名目 0.1%の増加	

消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移

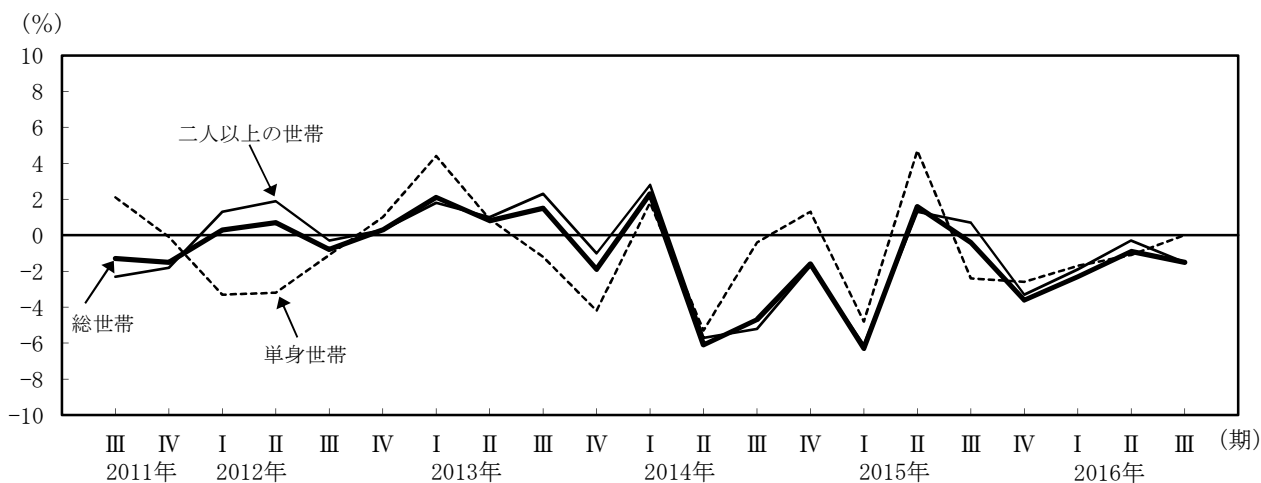


消費支出	2013年		2014年				2015年				2016年		
	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III
総世帯	0.7	-0.5	1.5	-5.7	-5.3	-3.3	-7.0	0.7	-0.6	-3.4	-2.9	-1.6	-2.1
二人以上の世帯	0.7	0.6	2.3	-5.2	-5.4	-3.4	-6.5	0.5	0.7	-3.3	-2.6	-1.2	-2.4
単身世帯	1.2	-3.4	-0.1	-4.9	-2.8	-0.9	-7.0	3.3	-3.4	-1.9	-2.4	-1.1	0.5

注1 Iは1～3月期, IIは4～6月期, IIIは7～9月期, IVは10～12月期を表す。

2 消費者物価指数の2015年基準改定に伴い, 2016年1～3月期分及び4～6月期分の実質増減率を遡及改定した。

図2 消費支出（除く住居等[※]）の対前年同期実質増減率の推移



消費支出(除く住居等 [※])	2013年		2014年				2015年				2016年		
	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III
総世帯	1.5	-1.9	2.3	-6.1	-4.7	-1.6	-6.3	1.6	-0.4	-3.6	-2.3	-0.9	-1.5
二人以上の世帯	2.3	-1.0	2.8	-5.7	-5.2	-1.7	-6.1	1.3	0.7	-3.3	-1.9	-0.3	-1.5
単身世帯	-1.2	-4.2	1.8	-5.3	-0.4	1.3	-4.8	4.7	-2.4	-2.6	-1.7	-1.1	0.0

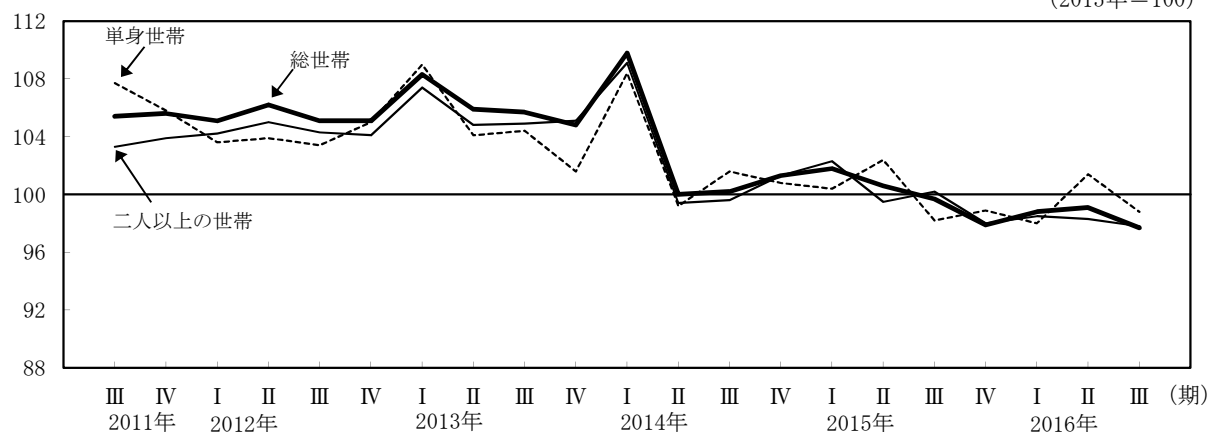
：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注1 Iは1～3月期, IIは4～6月期, IIIは7～9月期, IVは10～12月期を表す。

2 消費者物価指数の2015年基準改定に伴い, 2016年1～3月期分及び4～6月期分の実質増減率を遡及改定した。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(2015年=100)



消費支出	2013年		2014年				2015年				2016年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	105.7	104.8	109.8	100.0	100.2	101.3	101.8	100.6	99.7	97.9	98.8	99.1	97.7
対前期変化率(%)	-0.2	-0.9	4.8	-8.9	0.2	1.1	0.5	-1.2	-0.9	-1.8	0.9	0.3	-1.4
二人以上の世帯	104.9	105.1	109.1	99.4	99.6	101.3	102.3	99.5	100.2	98.0	98.5	98.3	97.8
対前期変化率(%)	0.1	0.2	3.8	-8.9	0.2	1.7	1.0	-2.7	0.7	-2.2	0.5	-0.2	-0.5
単身世帯	104.4	101.6	108.4	99.2	101.6	100.8	100.4	102.4	98.2	98.9	98.0	101.4	98.8
対前期変化率(%)	0.3	-2.7	6.7	-8.5	2.4	-0.8	-0.4	2.0	-4.1	0.7	-0.9	3.5	-2.6

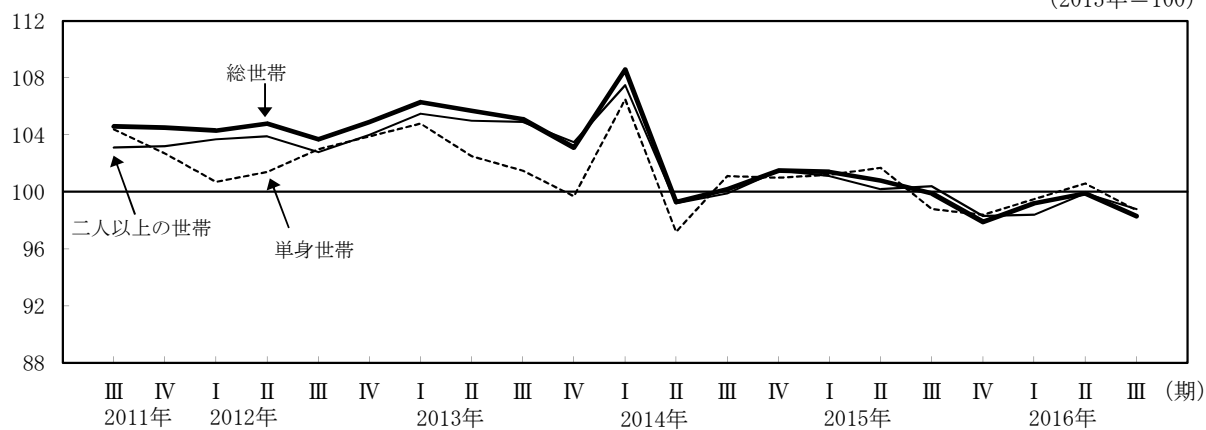
注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 2015年平均を基準とする指数に遡及改定した。

図4 消費支出（除く住居等※）（季節調整済実質指数）の推移

(2015年=100)



消費支出(除く住居等※)	2013年		2014年				2015年				2016年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	105.1	103.1	108.6	99.3	100.2	101.5	101.4	100.8	99.9	97.9	99.2	99.9	98.3
対前期変化率(%)	-0.6	-1.9	5.3	-8.6	0.9	1.3	-0.1	-0.6	-0.9	-2.0	1.3	0.7	-1.6
二人以上の世帯	104.9	103.5	107.5	99.2	99.9	101.5	101.1	100.2	100.4	98.3	98.4	99.9	98.8
対前期変化率(%)	-0.1	-1.3	3.9	-7.7	0.7	1.6	-0.4	-0.9	0.2	-2.1	0.1	1.5	-1.1
単身世帯	101.5	99.7	106.5	97.2	101.1	101.0	101.2	101.7	98.8	98.4	99.5	100.6	98.7
対前期変化率(%)	-1.0	-1.8	6.8	-8.7	4.0	-0.1	0.2	0.5	-2.9	-0.4	1.1	1.1	-1.9

※「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 2015年平均を基準とする指数に遡及改定した。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年7～9月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	234,605	-2.6	-2.1	-		5期連続の実質減少
食 料	61,504	-0.7	-1.5	-0.37	<減 少> 外食, 魚介類など	2期連続の実質減少
住 居	16,445	-5.6	-6.0	-0.43	<減 少> 設備修繕・維持, 家賃地代	3期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	15,055	-7.2	-0.2	-0.01	<減 少> ガス代, 上下水道料	2期ぶりの実質減少
家具・家事用品	9,481	2.4	3.6	0.14	<増 加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	2期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	7,740	-9.9	-11.8	-0.42	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	5期連続の実質減少
保 健 医 療	10,545	2.6	1.7	0.07	<増 加> 保健医療サービス	3期連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	31,711	-6.7	-4.5	-0.63	<減 少> 自動車等関係費, 交通	5期連続の実質減少
教 育	6,727	-3.5	-4.9	-0.14		
教 養 娛 楽	25,688	1.6	1.1	0.11	<増 加> 教養娯楽用耐久財, 教養娯楽用品など	10期ぶりの実質増加
その他の消費支出	49,709	-2.3	(-1.8)	(-0.38)	<減 少> 交際費, こづかい	13期連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	202,761	-2.0	-1.5	-		5期連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費

[-0.56]

.....

自動車購入, ガソリン

外食

[-0.24]

.....

飲酒代, 和食

設備修繕・維持

[-0.22]

.....

設備器具, 畳替え

交通

[-0.20]

.....

鉄道運賃, 鉄道通勤定期代

洋服

[-0.17]

.....

婦人服, 男子用ズボン

< 増加項目 >

家庭用耐久財

[0.18]

.....

エアコンディショナ, 電気洗濯機

教養娯楽用耐久財

[0.13]

.....

パーソナルコンピュータ, テレビ

通信

[0.11]

.....

移動電話通信料

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2016年7～9月期－総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	427,759	-2.1	-1.6	—	4期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	356,438	-2.4	-1.9	-1.62	14期連続の実質減少
定 期 収 入	311,515	-3.5	-3.0	-2.26	5期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	44,923	6.1	6.6	0.64	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	43,185	-5.9	-5.4	-0.57	2期連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	5,789	16.1	16.7	0.19	2期連続の実質増加
非 消 費 支 出	77,805	-4.6	—	—	4期連続の減少
可 処 分 所 得	349,954	-1.5	-1.0	—	4期連続の実質減少
消 費 支 出	258,573	-3.4	-2.9	—	5期連続の実質減少
平均消費性向(%)	73.9	(前年同期) 75.3	(ポイント差) -1.4		

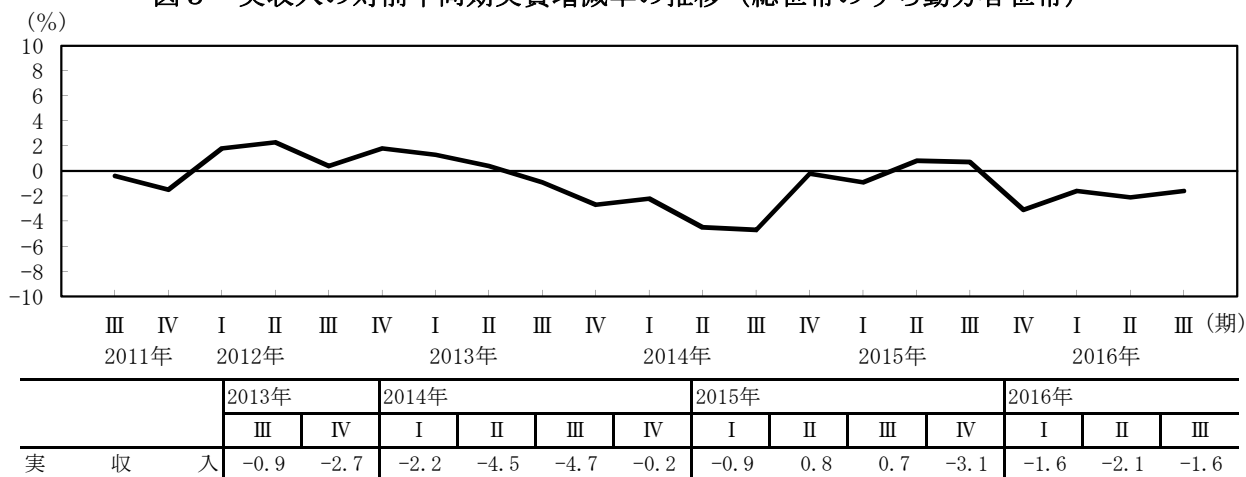
注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入（世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入）のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 消費者物価指数の2015年基準改定に伴い、2016年1～3月期分及び4～6月期分の実質増減率を遡及改定した。

<参考>総世帯，二人以上の世帯，単身世帯別世帯分布（1万分比）

2016年7～9月期

	総数	うち勤労者世帯
総世帯	10,000	4,798
二人以上の世帯	6,767	3,318
単身世帯	3,233	1,480

注 総世帯の結果は、労働力調査の世帯分布をウェイトとして集計。

上記の世帯分布表は、e-Stat掲載の家計調査（総世帯）詳細結果表第4表の結果。

二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2016年7～9月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	273,841	-2.9	-2.4	-		4期連続の実質減少
食 料	72,110	-0.1	-0.9	-0.22	<減 少> 外食, 魚介類など	3期ぶりの実質減少
住 居	16,155	-8.2	-8.6	-0.53	<減 少> 設備修繕・維持, 家賃地代	3期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	17,959	-7.2	-0.2	-0.02	<減 少> ガス代, 上下水道料など	4期連続の実質減少
家具・家事用品	11,440	2.0	3.2	0.13	<増 加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	3期ぶりの実質増加
被服及び履物	9,049	-9.0	-10.9	-0.38	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	10期連続の実質減少
保健医療	12,542	3.7	2.8	0.12	<増 加> 保健医療サービス	3期連続の実質増加
交通・通信	37,796	-7.3	-5.1	-0.74	<減 少> 自動車等関係費, 交通	4期連続の実質減少
教 育	9,937	-2.8	-4.2	-0.15	<減 少> 授業料等, 教科書・学習参考教材	3期ぶりの実質減少
教養娯楽	29,103	-1.6	-2.1	-0.22	<減 少> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品など	4期連続の実質減少
その他の消費支出	57,750	-2.2	(-1.7)	(-0.36)	<減 少> 交際費, こづかいなど	13期連続の実質減少
消 費 支 出 (除く住居等)	239,580	-2.0	-1.5	-		4期連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-0.84]	自動車購入, ガソリン
設備修繕・維持	[-0.31]	他の工事費*
授業料等	[-0.19]	私立大学, 国公立高校
外食	[-0.17]	飲酒代, 和食
洋服	[-0.14]	婦人服, 他の婦人用洋服
教養娯楽サービス	[-0.14]	外国パック旅行費, 自動車教習料

< 増加項目 >

通信	[0.14]	移動電話通信料
家庭用耐久財	[0.13]	電気洗濯機, エアコンディショナ

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の工事費」には、「給排水関係工事費」や「外壁・塀等工事費」以外の住宅に関する工事費等が含まれる。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2016年7～9月期－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

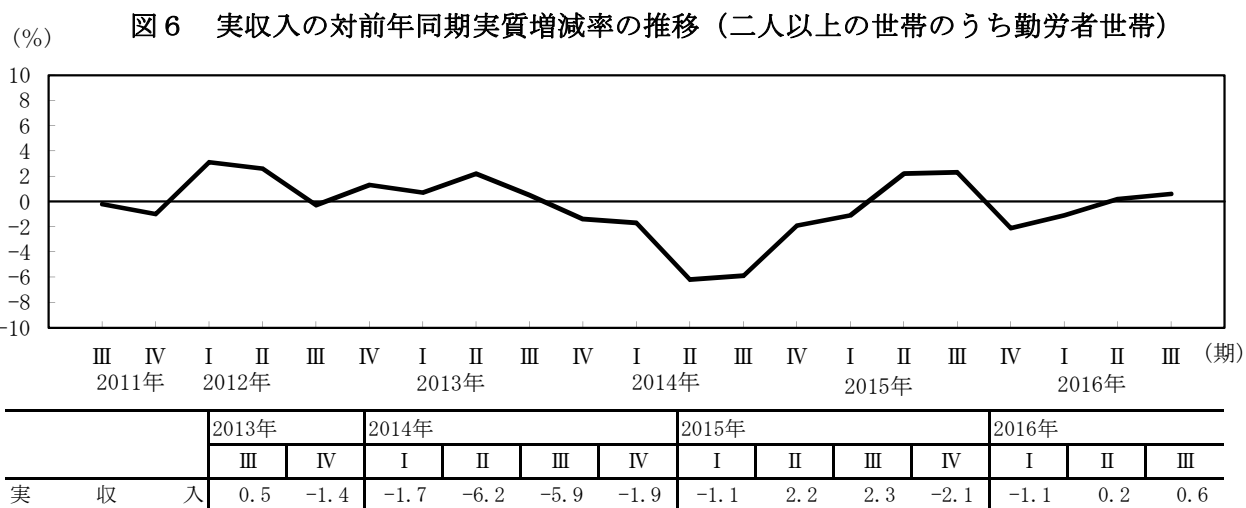
項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	492,954	0.1	0.6	—	2期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	395,769	-0.2	0.3	0.23	2期連続の実質増加
定 期 収 入	343,764	-0.2	0.3	0.21	2期連続の実質増加
臨 時 収 入・賞 与	52,004	-0.4	0.1	0.02	3期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	62,458	-3.4	-2.9	-0.38	6期ぶりの実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	8,370	19.1	19.7	0.28	2期連続の実質増加
非 消 費 支 出	90,497	-1.8	—	—	2期ぶりの減少
可 処 分 所 得	402,457	0.5	1.0	—	2期連続の実質増加
消 費 支 出	300,083	-3.3	-2.8	—	4期連続の実質減少
平均消費性向(%)	74.6	(前年同期) 77.5	(ポイント差) -2.9		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。



注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 消費者物価指数の2015年基準改定に伴い、2016年1～3月期分及び4～6月期分の実質増減率を遡及改定した。

． 単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（2016年7～9月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	152,472	0.0	0.5	-		5期ぶりの実質増加
食 料	39,302	-1.6	-2.4	-0.64	<減 少> 外食,魚介類など	4期連続の実質減少
住 居	17,051	0.0	-0.4	-0.05	<減 少> 家賃地代	5期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	8,976	-5.5	1.6	0.10	<増 加> 電気代,他の光熱	2期連続の実質増加
家具・家事用品	5,381	6.4	7.7	0.25	<増 加> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	3期連続の実質増加
被服及び履物	4,998	-12.2	-14.0	-0.52	<減 少> 洋服,和服など	5期連続の実質減少
保健医療	6,363	-0.1	-1.0	-0.04	<減 少> 保健医療サービス	2期連続の実質減少
交通・通信	18,975	-2.2	0.1	0.02	<増 加> 自動車等関係費,通信	3期連続の実質増加
教 育	10	-	-	-		
教 養 娛 楽	18,540	15.3	14.7	1.56	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品など	3期連続の実質増加
その他の消費支出	32,876	-1.3	(-0.8)	(-0.17)	<減 少> 交際費	3期連続の実質減少
消 費 支 出 (除く住居等)	125,689	-0.5	0.0	-		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[0.69]	自動車保険料(任意),自動車等関連用品
教養娯楽サービス	[0.67]	外国パック旅行費,映画・演劇等入場料
教養娯楽用品	[0.61]	音楽・映像収録済メディア
家庭用耐久財	[0.38]	エアコンディショナ
教養娯楽用耐久財	[0.34]	テレビ,カメラ

< 減少項目 >

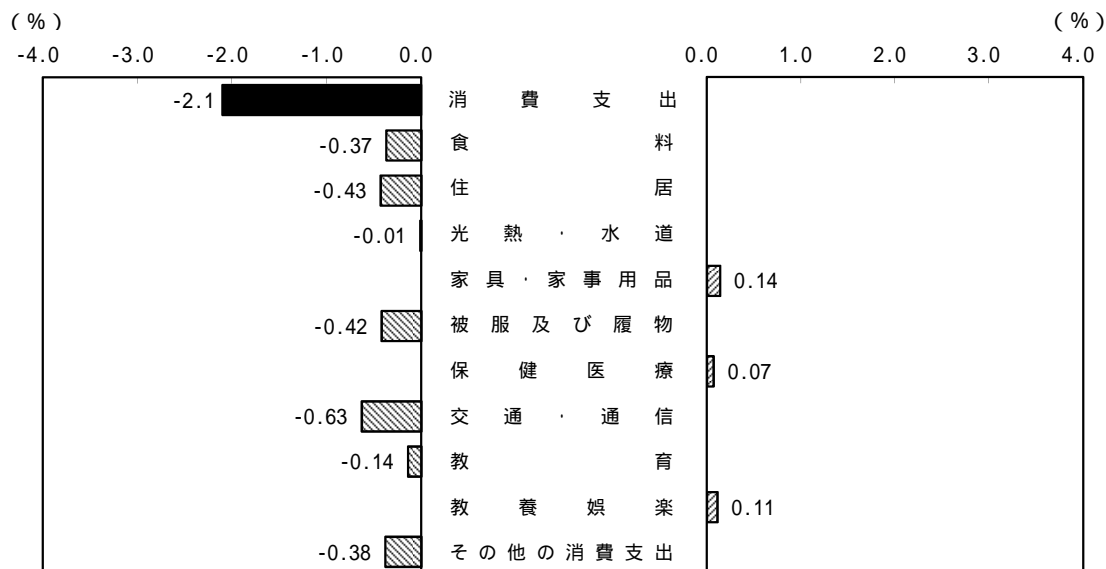
交通	[-0.78]	鉄道運賃,航空運賃
外食	[-0.49]	飲酒代,喫茶代
洋服	[-0.29]	背広服,男子用ズボン
保健医療サービス	[-0.15]	医科診療代,歯科診療代

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

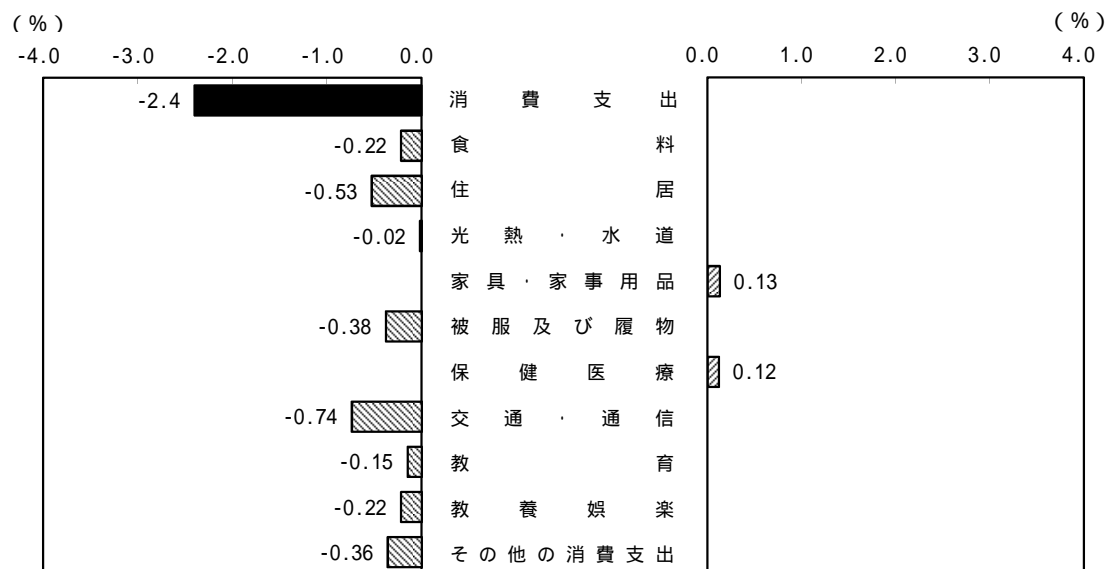
< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2016年7～9月期）

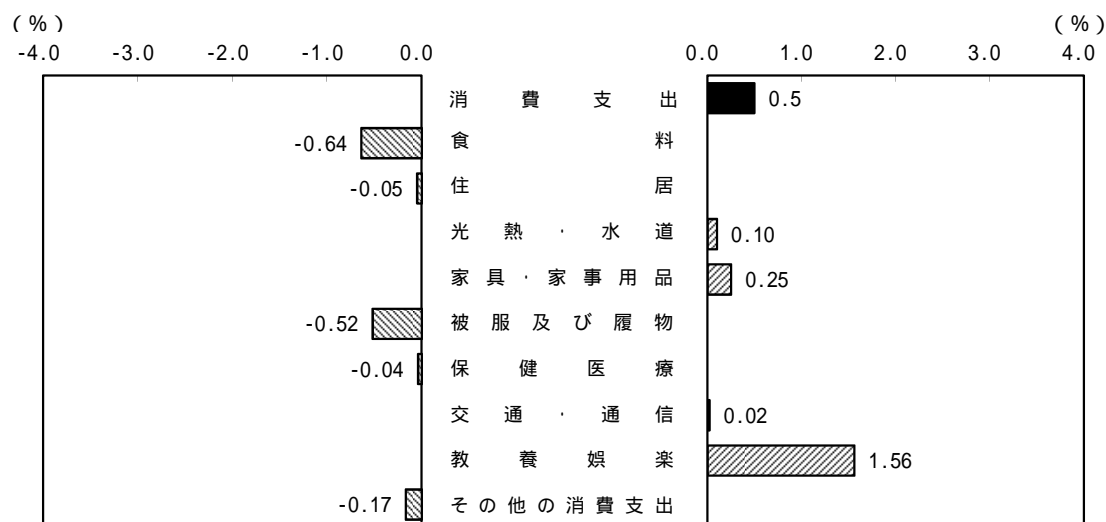
（１）総世帯



（２）二人以上の世帯



（３）単身世帯



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。